

日本キリスト教団小倉東篠崎教会

Church College II

生と死を考える

与えられた『いのち』とどう向き合うか

日時 2022年10月15日(土) 14時~16時

講師 くほでら としゆき 窪寺 俊之 先生 (兵庫大学大学院特任教授)



私たちを取り巻く文化や概念、言語、枠組み、何より「いのち」の根幹にあるものを知ることが、現代の様々な課題解決の道。私たちの生きる意味と方向をキリスト教とその背景となる知見からその根幹に迫ろうと、2021年にChurch College(教会公開講座)を開講いたしました。今回は、私たちに与えられた「いのち」をどのようにとらえるのか、ホスピスケア、スピリチュアルケアの分野で数多くの業績を挙げて来られた窪寺俊之先生に講義いただきます。

プロフィール: 淀川キリスト教病院チャプレン、リッチモンド記念病院チャプレン(米国)、イーストベイ・フリーメソジスト教会牧師(米国)、関西学院大学教授、聖学院大学大学院教授を経て、現在、兵庫大学大学院特任教授。日本スピリチュアルケア学会理事、日本臨床死生学会常任理事、日本臨床宗教師会理事など。

著書: 『スピリチュアルケア入門』、『スピリチュアルケア学序説』、『スピリチュアルケア学概説』、『スピリチュアルケア研究』、『死とスピリチュアルケア論考』など。

講演要旨: 私は終末期がん患者さんの病院であるホスピスでチャプレン(病院牧師)をさせていただきました。想像外の人生の厳しさに直面した人との出会いから多くのことを教えられました。厳しい現実を前に患者さんたちを支えたものに、与えられた「いのち」との出会いがありました。聖書は「いのち」を与えられたのは神であると教えます。「いのち」の主である神が患者さんとどのような関わりを持ったのか、その関わりが患者さんに何をもたらせたのかを考えたいと思います。

人生の土台を揺り動かす危機は、終末期がん患者さんだけではなく、愛する人との別れや、突然の災害、想定外の不幸など、自分が壊れそうになります。いかなる状況にも人生を諦めずに生きる支えは何でしょうか。聖書は人類史の中で、悲嘆に暮れて死ぬしなかいと思った人に、光や希望を与えてきました。また、自分の弱さや汚さに苦しむ人には安らぎを与えてきました。ご一緒に自分の人生をどう生きるか、そしてどのように締めくくるかを考えてみたいと願います。あなたの人生の光なるものを見つける機会となることを願っています。

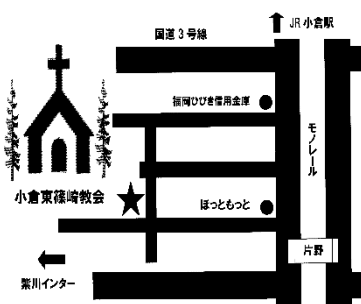
日本キリスト教団
小倉東篠崎教会

北九州市小倉北区東篠崎 1-2-13

Tel & Fax: 093-951-7199

Mail: kokura@higashishinozaki-ch.jp

JR 小倉駅からモノレールに乗換、
片野駅下車、徒歩2分。



参加無料。どなたでもどうぞ!
会場(教会)並びに ZOOM
で開催します。

メール(kokura@higashishinozaki-ch.jp)
または電話(093-951-7199)にて
10月12日(水)までにお申し込みください。